



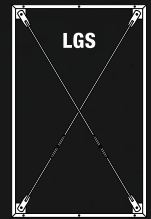
生活の一部になる屋上空間を可能にするのは世田谷ベースの増築時にも採用された曲面屋根「RSパン」です。これにより豊かな吹き抜けと屋上空間を提供しつつ、プライバシーの確保もしっかり配慮。BBQ グッズの収納も完璧です。写真上はリビングやダイニングからも屋上が感じられることがよくわかる内部イメージ。スキップフロアー（フロアの高さを半階分ずらしながら連続する層を構成する建築方法）を採用した新しいタイプのバルコニーといえる考え方です。キッチンの壁面は外壁と同じくガルバリウムを用いてみました。



Theme

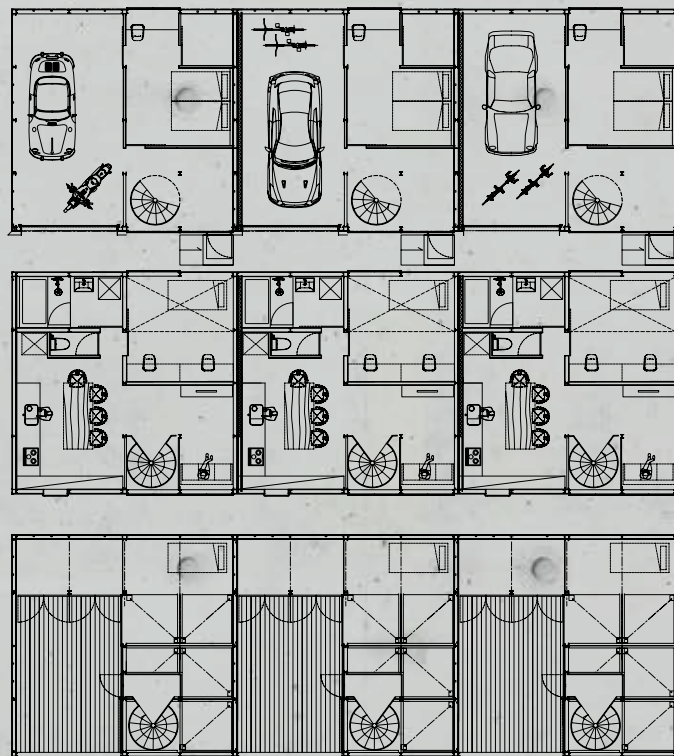
ルーフバルコニーとガレージのある賃貸住宅

個室の数を住宅選びの条件にする時代はもう終わり。
ガレージスペースと使いやすい屋上空間は「楽しい家」の必要条件なのです！



×
96
[32枚 × 3部屋]

PANELS



1F

FLOOR PLAN

以前に掲載したガレージアパートメントでは2スパン間口で、単身向けタイプを提案していましたが、今回はアパート3世帯分のファミリータイプで、4スパンの間口を設定しています。十分なガレージ空間は、ワイルドな書斎のような使い方も可能。縦に突き抜けるらせん階段を大黒柱のような垂直方向の中心軸として、バランスの良い面積比率で各部屋を構成しました。上部が吹き抜けになっているので、面積は小さ目のリビングですが、代わりに非常に豊かな空間性を感じることができるのです。2階建てで建築基準法を申請しているため、LGSパネルを露出させることも可能となっています。

2F

3F



INFORMATION LDKinc.

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社 LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。

代表: 玉田敦士
WEB: www.ldk.co.jp
TEL: 03-6228-4933

DAYTONA HOUSE OFFICIAL HP
www.daytona-house.com

Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk), Soma YOKOI

青空に開放された屋上でゆっくりした時間を過ごしたい。このようなイメージを持った施主に今まで何度も会ってきましたが、実際に家が完成した後で、その屋上をうまく使いこなしている人をあまり見たことがありません。屋上は生活の主要な場所から分離しているため、結局忙しい毎日の中では意識から消えてしまいうのでしよう。おまけの空間である限り、生活の一部になることはないということなのかもしれません。

そこで今回は、以前もご提案したガレージアパートメントのモチーフを使いながら、開放的なルーフバルコニーと十分なガレージスペースを

What's Daytona House

デイトナハウスを構成するのは、LGS と呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「C チャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGS パネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGS パネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

